

導入が進む 「小中一貫教育」

シリーズ市政の「今」。今回は、舞鶴市内の小・中学校で導入が進められている小中一貫教育の概要をお伝えします。



【小中一貫教育の目指す目標】

教育振興大綱で定める育てたい子ども像「ふるさと舞鶴を愛し夢に向かって将来を切り拓く子ども」の実現に向けて、次の3つを教育目標に小中一貫教育を推進

- ◆ 義務教育9年間で修了するのにふさわしい学力の定着
- ◆ 豊かな人間性や社会性の育成
- ◆ 小・中学校教職員の協働による9年間を見通した一貫性のある指導

【小中一貫教育の教育区分】

修業年限	小学校課程6年間						中学校課程3年間		
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学年区分	前期						後期		
	基礎・基本の習得と定着						基礎・基本の活用		
教育区分							基礎・基本の活用と応用		

舞鶴市では「小中一貫教育」の導入を進めています。これは、中学校区の小・中学校を1つの学校として捉え、義務教育9年間を連続した期間として、児童生徒の発達段階に応じた指導を行うものです。

小中一貫教育の施設形態を大きく分けると「施設一体型」と「施設分離型」がありますが、舞鶴市では既存の小・中学校を存続させながら小中一貫教育を行う「施設分離型」で実施しています。

昨年度に城北・加佐中学校区で先行導入しており、本年度、青葉・和田中学校区にも導入。そして来年度には白糸・城南・若浦中学校区に導入し、市内全ての中学校区で小中一貫教育を実施する予定です。

◆ 共通の目標と9年間を見通した授業

中学校区の小・中学校が一丸となって小中一貫教育を進めるため、学校間で話し合いのもと、各中学校区ごとに共通の教育目

標を設定。また、舞鶴市教育委員会において作成した各教科ごとの「標準カリキュラム」をもとに、発達段階に応じた系統的な授業を行います。発達段階を、小学1年～4年までを前期、小学5年～中学1年までを中期、中学2、3年後期とした3段階に分け、それぞれの教科（領域）の特性を生かして、「主体的に学び続ける学び手」としての児童・生徒を育成するため、「考える力」「自覚する力」「頑張り続ける力」の視点で、9年間のつながりを大切に授業づくりに取り組みんでいます。

◆ 中1ギャップの解消

また、小学校から中学校へ進学した後に生活や学習への意欲が低下したり、不登校や問題行動を起したりする生徒が増加する傾向が見られます。これを「中一ギャップ」と呼び、本市にも同様の傾向が見られています。「中一ギャップ」は、中学校に進

学後に、人間（友達）関係の変化、学習進度の違い、学級担任制から教科担任制などの教育システムの違いなど、学校生活のさまざまな変化にスムーズに起こるといわれています。小中一貫教育には、そのような急激な変化（段差）を緩やかにしようとする目的もあります。

そのため、小中一貫教育では、小学校高学年から、一部の教科については担任以外の教員から授業を受ける「二部教科担任制」を取り入れたり、中学校の教員が小学校で授業を行う、「乗り入れ授業」を実施したりするなど、学級担任制から教科担任制へと指導体制が変わる環境変化を緩和するとともに、より専門的な教科指導を実施しています。

また、各小学校間や小・中学校間で合同の野外活動や奉仕活動などの交流事業、さらには、小学生が中学校で1日登校や部活動体験などを通して、進学時の環境や人間関係に少しでも早く慣れるための取り組みを行います。

◆ 地域ぐるみの教育環境

子ども達の健やかな成長には、学校・家庭だけでなく、地域の皆さんの協力が必要不可欠です。学校・保護者・地域間で課題を共有し、熟議を行いながら学校運営を行う「コミュニティ・スクール」の取り

組みを進めることで、子ども達の成長を学校内外で支える、地域ぐるみの教育環境づくりを行っていきたく考えています。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◆ 0歳から15歳まで

市では、教育の基本方針である「舞鶴市教育振興大綱」に定める本市が目指す育てたい子ども像「ふるさと舞鶴を愛し夢に向かって将来を切り拓く子ども」の育成に向け、「0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育の充実」を進めており、小中一貫教育の導入もそのための手法の一つです。小中一貫教育のほかにも、子ども達の夢の実現を後押しする「夢チャレンジサポート事業」なども実施しています。

さらに、保育所・幼稚園の年長児と小学1年生の生活科を通じた合同授業・保育（連携活動）を実施し、乳幼児期に培ってきた自分で考え判断し行動する「自己決定力」「コミュニケーション力」「意欲的に取り組む力」などを小学校につなげていきます。また、保育所・幼稚園の保育者は、小・中学校の教員と研修などを通じて一緒に学び合うと共に、公開保育などの研修にも力を入れ、乳幼児教育の質の向上に取り組んでいます。



同じ中学校区の小学生が集まり合同の活動を行う



中学校で中学校教員による授業を受ける小学生



中学校で部活動の体験をする小学生



同じ中学校区の小・中学校の教職員が授業研究